



## 今を受け入れ、今を越える。

早いもので、今年度も後半に入りました。1学期末の保護者アンケート（回答率64%）の結果をもとに、これまでの半年を保護者の方の目線で振り返ります。（詳細は裏面をご覧ください。）  
全15項目の質問の内、評価が高かったのは次の項目でした。

### ◎評価が高かったもの

[4段階評価]

（回答…… 4:よくしている, 3:だいたいしている, 2:あまりしていない, 1:ほとんどしていない）

- ① お子様は、**部活動の練習**に意欲的に取り組んでいますか。…………… 3.5
- ② 先生は、**熱心に勉強**を教えてくださいませんか。…………… 3.4
- ③ お子様は、**友だちと仲良く**していると思われませんか。…………… 3.4
- ④ お子様は、**学校の基本ルール**を守って生活できていると思われませんか。…… 3.3
- ⑤ 学校は、**保護者が参観**できる機会を適切に設けていると思われませんか。…… 3.3

最も高い評価だったのは、①「部活動の練習」です。今夏の総体やコンクールでも、多くの部が地区大会で活躍し、県、四国、全国大会へと進むことができました。夏以降、2年生中心の新チームになりましたが、この“トヨチュウの強み”を引き継いでくれると期待しています。ご家庭の応援をよろしくお願ひします。

②「熱心に勉強」③「友だちと仲良く」④「ルールを守る」はいずれも、中学時代に大切にしたいことばかりです。これらの高い評価は、多くの生徒が充実した学校生活を送っている証でしょう。一方、比較的評価が高くなかったのは、次の項目です。

### ▲評価があまり高くなかったもの

[4段階評価]

- ① お子様は、**進んで家庭学習**に取り組んでいますか。…………… 2.6
- ② お子様は、**授業中発表**したり、**意見を言**ったりしていると思われませんか。… 2.8
- ③ お子様は、**時間**を守って生活していると思われませんか。…………… 3.0

上の3点を自分に当てはめてみて、生徒の皆さんはどう思いますか。心当たりがある人は、後半の半年間で、意識して努力しましょう。

さて、車いすアスリートの土田和歌子さん（1974～）は、どんな時にも、こう言って乗り越えてきたそうです。

今を受け入れ、今を越える。

（土田和歌子）

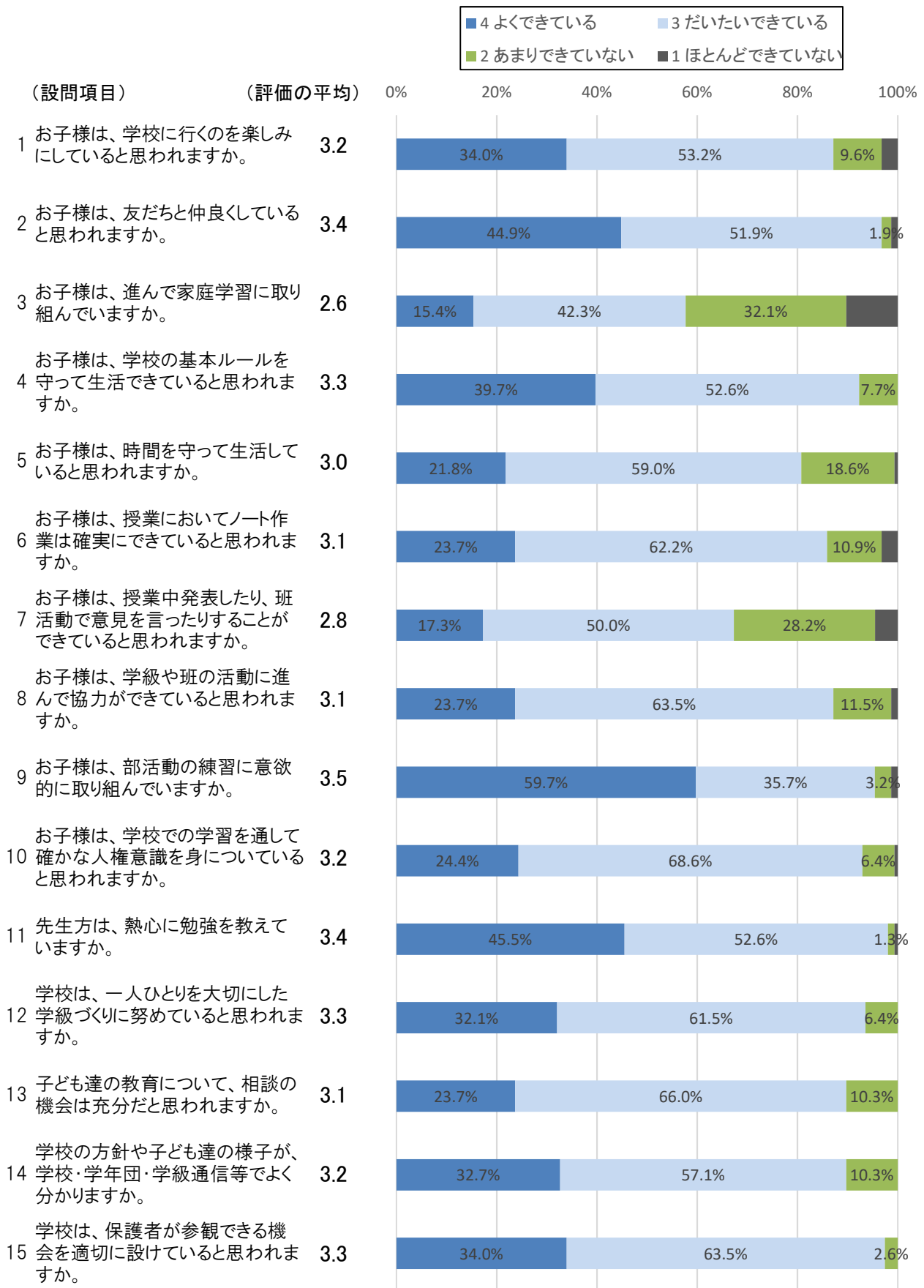
高校時代の交通事故が原因で車いすが必要になった土田さんは、その後、パラリンピックで金メダルを獲得しましたが、レース中の怪我のため選手生命が危ぶまれたこともありました。

人生には思うようにならない時もありますが、土田選手のように、未来志向で「今」を越えたいものです。



▲土田和歌子オフィシャルブログより

# 令和5年度 1学期末 学校経営・運営に関する保護者アンケートの集計結果(全学年)



\* アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の改善に生かしてまいります。